

## 令和7年度 信学会しらかば幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

- (1) 明るいあいさつができる子 (2) 元気に遊ぶ子 (3) 思いやりのある子

### 2. 本年度の重点目標

○力を入れている活動

- (1) 言葉に親しむ活動・・・読み聞かせ、おはなしの日（図書選択を自分で）、聞く姿勢作り  
 (2) 体を動かしてあそぶ活動・・・園庭での運動あそび、集団遊び、自由遊び、マラソンや体操、ツリーハウス（ターザンロープ）スラックライン バランス感覚を高める乗り物  
 (3) 自然に親しむ活動・・・動物とのふれあい、植物や昆虫の観察、園庭の木の実の利用、豊かな自然の中での活動

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

(ア) 園の雰囲気はいかがでしたか 8名中 ・とてもよかった…7人 ・よかった…1人

(イ) 職員の対応はいかがでしたか 8名中 ・とてもよかった…8人

- ・アンケートには、ほとんどの項目に対して「そう思う」の意見が圧倒的に多く、あらためてすばらしい幼稚園「ここに入園させたい！」と思える幼稚園だと思う。
- ・保護者アンケートにも温かい言葉がたくさんあって、先生方のご丁寧な対応が、伝わっていることを本当にうれしく思う。様々なご意見があるかと思うが、先生方がお元気でいてくださることが、子どもたちの笑顔につながると思う。引き続き無理のないところでやっていただけたらと思う。
- ・園の様子も写真でのおたよりで分かりやすく、楽しそうな感じが見てとれてよい。
- ・どのクラスも雰囲気がとてもよかった。作業中にわからない子がいれば、周りのお友だちが自然に教える姿がとてもよかった。掲示物もたくさんあり、年長さんの「書き初め」にとっても感動した。
- ・発表会の練習や制作の活動も先生から子どもたちへ一方の指示だけでなく、自分たちで今日がんばるところを考えたり、使う道具を自分たちが考えたりして作る主体性があった。
- ・各学級の様子を見学させていただきましたが、子どもも先生方もおだやかだった。

- ・いろいろ考えて取り組んでいることが、アンケートからもあらわれている。みなさんの意見もしっかり考えて次に活かしていくところがよい。
- ・「学年だより」写真が多くなったことで子どもたちの様子をよく知ることができる。子どもとの話題もふくらむので負担のない程度で続けていただけると嬉しい。
- ・「わくわくDAY」集中力や発想がとてついていると感じる。

## 5 今年度の総合的な園評価と次年度の課題

- ・3学期には、安全対策で園門に電子錠とモニター呼び鈴を設置していただいた。保護者の皆様には開錠の手間を増やすこととなったが、園での対策にはご理解をいただくことができ、「子どもたちの安全への配慮があってよい」と、保護者の皆様からも良い声が届いている。
- ・高齢のウサギが獣医での手術を受け、術後は職員室で管理をしている。通常の場合にいないので「大丈夫かな」と子どもも保護者も心配してくれている。
- ・現在行っているきめ細かな子ども支援を継続し、子どもを園運営の中心に考え、魅力ある幼稚園となるように工夫し、園運営の充実を図っていく。
- ・保護者アンケートや入園を決めた理由から「しらかば幼稚園の先生方が、明るくて温かくて子どもたちも保護者も感謝している。」との回答がとてつ多かった。職員には、これら元気が出るように認められた点を紹介し、より一層頑張れるように働きかけを行った。
- ・感染予防などについて、職員一人ひとりが丁寧な消毒などの日常の取組を徹底してきた。今年度は近隣の小中学校が、2学期にインフルエンザA、3学期にはインフルエンザBの蔓延で学級閉鎖が相次いだ。本園では3学期にはインフルエンザBによる1学級の学級閉鎖があったのみと、少なかった。さらに、感染対策として、清潔、予防環境を整える取組を継続していく。
- ・子どもの障がいや課題を保護者と関係する諸機関と情報共有できるように心がけてきた。その成果として小学校へのつながりがスムーズになり、入学後の適切な支援につなげることができた。
- ・小学校とのかけ橋プログラムを作成し、年長児が小学校に行き、学校探検、体育館での運動、教室で机と椅子をお借りしての学習体験などができた。入学を期待する気持ちの醸成につながった。
- ・読み聞かせ（おはなしの日）は、豊かな心の醸成に重要なので、日常的に継続して取り組んでいく。質の高い児童図書の選定を心がけ、蔵書をさらに充実させていく。
- ・「お子さんは安心して楽しく園に通っていますか」について全員の方から良い回答を得られている。このことに甘んじず、一層のきめ細かな保育を心がけるよう、職員指導を行っていく。
- ・「今日も幼稚園で楽しかった」と子どもが帰宅後に家族に話せるような、毎日の営みをこれからも大切にしていきたい。
- ・職員が自信を持ち、明るく朗らかに、日々の保育を継続できるように励ましていきたい。